

ふれあいネットワーク ● やはた西 ●

# 社協だより

No. 278

●発行所  
北九州市八幡西区社会福祉協議会  
八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシテイ6階  
TEL 642-5035

●発行者 山本 徹生

●印刷 株式会社 ペイジ

## 謹んで年頭のご挨拶を

## 申し上げます

新しい年を迎え、みなさまには益々ご健勝のことと存じます。

区民のみなさまには、平素から八幡西区社会福祉協議会の事業推進に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会は、地域で活動されるみなさまに支えられながら、社協の理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指して活動しております。

しかし、近年経済状況が厳しい中、本格的な少子高齢化、核家族化が進み、子育てや介護をめぐる問題、児童・高齢者虐待問題、生活困窮をはじめとする深刻な生活課題を抱えた方々への支援など、新しい福祉課題への対応が求められています。

また、東日本大震災や豪雨災害を教訓とした絆づくりの大切さの認識が高まり、社会福祉協議会への期待はますます大きくなっています。

このような状況の下、八幡西区社会福祉協議会では校(地)区社会福祉協議会をはじめとする関係機関・団体との連携を深め、課題を一つでも解決し、区民のみなさまが安心して暮らせるよう、積極的な活動を展開していく所存ですので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

社会福祉法人

北九州市八幡西区社会福祉協議会

会長 山本 徹生

# ボランティアフェスタin八幡西

『みんな集まれ〜ッ！来て！見て！聞いて！part2』

『誰もが主役のボランティア』

日時 平成26年2月23日(日) 12時〜16時

会場 九州共立大学『自由ヶ丘会館』 4階  
(八幡西区自由ヶ丘1-8)

今年度も八幡西区内を中心に活動している

各ボランティアグループによる活動PR発表をメインに行い、パネル展示コーナーや体験コーナー、作業所による販売コーナーを設けて、ボランティア活動に参加するきっかけづくりや、これからの活動に役立つ情報など、新しい発見や出会いを見つけていただける場として開催します。

ボランティア活動をしている方、これから始めてみようと思っている方、またボランティア活動に興味のある方、どなたでも参加できます。

## ボランティア川柳募集

今年も「ボランティアフェスタin八幡西」の企画の一つとして、「ボランティア川柳」を募集します！

ボランティアをされていて感動したこと、うれしかったこと、困ったこと等・・・あなたの「ボランティア」に対する想いを5・7・5にして伝えてみませんか？

審査は、当日来場者の投票によって決定し、入賞者には豪華賞品を用意しています。

※応募チラシは区内の各市民センターに配布しています。



**参加無料**  
当日参加も  
大歓迎！

問い合わせ

八幡西区ボランティア・市民活動センター

TEL・FAX 642-0407

共同募金は、この新聞発行にも役立てられています。





11月23日(土・祝日)に、平成25年度校(地)区社協活動者交流会が穴生ドームで開催されました。毎年恒例となったこの交流会は、ふれあいネットワーク活動に取り組む市内の校(地)区社協を対象に、活動者相互の交流や情報交換等を目的に開催しています。

今年度は、北九州市内27校(地)区社協、八幡西区では8校(地)区社協より9チーム、総勢68名の参加がありました。青山校区社協の皆さんは、初参加でした。

まず、風船バレーボール振興委員会副会長の岩井菜穂美さんよりお話いただいた後、穴生学舎やまびこの会の皆さんより風船バレーボールの実技指導をしていただきました。

昼食休憩の後は、いよいよ風船バレーボールの交流戦です。このスポーツは、障がいのある人もそうでない人も、子どもから高齢者までみんなが楽しく参加することができます。また、メンバー全員がボールに触ってから相手コートに返すというルールがあり、チームに一体感が生まれます。

参加者の皆さんのボールを追う目つきは真剣そのもの。声を掛け合いながらの交流戦は、校区社協のメンバーの絆を深めるものとなったのではないのでしょうか。

今年度八幡西区から出場したチームは惜しくも入賞を逃しましたが、引野校区社協が5位という素晴らしい結果を残してくれました。

今回の交流会で得た経験を、地域の活動に生かしていただけたらと思います。



祝五位!! 引野校区社協



初出場の青山校区社協のみなさん

## フワフワと 浮かぶ風船 追いかけて...

校(地)区社協活動者交流会

## こころの パリアフリー

～浅川校区社協 個別研修～

11月2日(土)に浅川市民センターで研修を行い、浅川校区社協の関係者や地域住民など約40名の参加がありました。

テーマは、「障がいのある人と共に生きる」。

障がいと一口に言ってもさまざまですが、今回は「精神障がい」について学び、出会い、考える機会を持ちました。

はじめに、北九州市立精神保健福祉センターの三井敏子所長より、「こころのバリアフリー」についてお話していただきました。

私たちは、精神疾患について「自分には関係のないこと」として考えてしまいがちですが、誰にでもかかってくる病気であることを知ることが大切だと教



えていただきました。

三井所長のお話の後は、精神障がいの当事者Sさんに体験談をお話いただきました。Sさんは、数年前に躁うつ病を発病され、精神科病院への入院を経験された後、現在は北九州市立浅野社会復帰センターへ通所し、一般就労を目指しています。

Sさんの口から語られた病気の話や入院生活の体験は、辛いものも多くありましたが、現在、明るく前向きに過ごされているその姿に共感し、参加者自身が勇気づけられているように感じました。

最後に、歌うことが好きというSさんのリードで、秋の名曲「もみじ」を参加者全員で合唱し、会場がとても温かい雰囲気になりました。

地域には、さまざまな人たちが暮らしています。互いに出会い、知ることから、社協の目指す「誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」が形になってゆくのかもしれないですね。

### 参加者の声

\*知る事の大切さを思います。知らないことについても偏見や誤解があると思います。当事者のお話してくださったる勇氣に感動しました。

\*治らない病気と思っていたけど、周囲の受け入れが十分であれば、社会復帰も可能だといふことがわかりました。

